

小栗原小学校6年生 田中悠翔さんのインタビュー全文

- (環境政策課職員) 海洋プラスチックごみ問題については、いつから研究を始めましたか

(田中さん) 夏休み前の6月くらいから始め、夏休み期間を掛けて行いました。

- 海洋プラスチックごみ問題について研究しようと思ったきっかけは何ですか

三番瀬によくサイクリングに行きますが、ゴミがいっぱい落ちていることに気づきました。海洋プラスチックごみについてニュースで聞くので調べてみようと思いました。

- 研究のまとめの中でふなばし環境フェアのチラシなど市の環境啓発関連の広報物も資料として入れていただきましたが、いつから環境問題に興味を持っているのでしょうか、そのきっかけも教えてください

昨年から、テレビで紹介されているのを見たり、実際に三番瀬のごみを見たりして興味を持ち始めました。学校の社会科の授業などでも環境問題が取り上げられ、それもきっかけになりました。

- 小学生では思いつかない発想だなと驚きました。調査方法は どうやって考えましたか

お母さんと一緒に考えました。

- 研究の中でクラスの皆にアンケートをとって気になったこと・印象に残ったことは何ですか

海洋プラスチックについて、クラスみんなは興味を持っていたり、気になっていたが、あまり詳しくは知らなかったので、周りの人たちへ知らせることは大切なんだなと思いました。

- 海洋プラスチックごみ問題を知らない人に知らせるには、どんな方法が良いと思いましたか

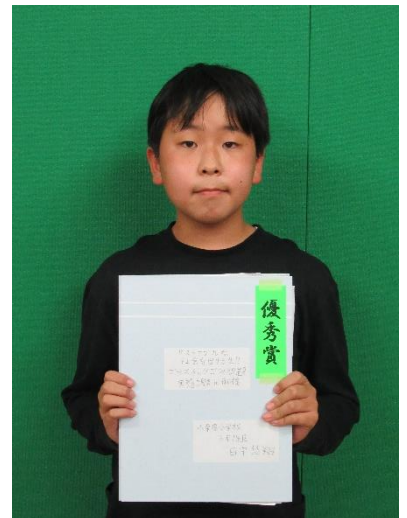
ポスターを作ったり、SNSを使って知らせることができると思います。自分はタブレットを使いますが、スマホでネットを見る子もいます。

- 研究する中で苦労したことは何ですか

コロナの影響で直接取材に行ける場所が少なく、本で調べたり取材先とメールでやりとりをしたりしましたが、メールしたところに実際に現場へ取材に行けたら良かったです。取材先はお母さんと相談して決めました。メールした取材先は下水処理場やプラスチックを製品に変える会社などです。

- 取材してみてどうでしたか

実際に行くのは緊張しますが、メールだと緊張せずにできました。あと、その職業の人たちだからこそその内容を知ることができました。



- 研究して勉強になったこと、初めて知ったことは
思っていたよりも海洋プラスチック問題は身近で、自分たちにできることはあると思いました。
- これから自分ができることとして何をしていきたいですか
ポスターとかで知らせたりすることができると思いました。
- 環境政策課は海洋プラスチック問題について市民に何を発信していけば良いと思いますか
資料の中で難しい言葉があったので、それについて分かりやすくすると良いです。
- 環境問題について皆さんに知ってもらうために、授業をしたりイベントで工作や実験をしたりすると、みんな楽しく学べるでしょうか？
イベントがあると楽しく参加できると思います。
- イベントで実際にものに触ってもらったり、工作できるものがあると行きたくなるでしょうか。
楽しめる方が行きたくなると思います。
- お家でやっているプラスチック対策はありますか。
マイバックを持ち歩いて、レジ袋を貰わないようにしています。
家族とはこれまではあまり話し合いはなかったが、自由研究をきっかけに話し合うようになりました。
- 自由研究で環境問題を取り上げるのは初めてですか？
小学校3年生の時に地球温暖化など天気・異常気象について取り上げました。
- 中学校に進学したら、新しいことを調べたいですか。
今はまだ特に決まってはいいませんが、これからも環境については意識を持っていきたいです。

市の刊行物もきれいにファイリングしてまとめていて、とても感激しました。市で環境啓発する際のヒントもいただき、とても参考になる取材でした。
田中悠翔さん、ありがとうございました！

